

平成29年度 学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
宇城	三角町	宇城市立三角中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子(写真)	取組の実際
宣言		<p>本校の環境教育の目標は、次の3つである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○愛校心をもって自ら進んで環境美化に取り組む生徒の育成 ○周囲の環境に目を向け、よりよい環境の改善・創造に自主的に取り組む生徒の育成 ○学校版環境ISOの意識を持った生徒の育成 <p>このように、生徒自らが気づき、自主的に環境の改善や創造に取り組めるようになることをねらいとしている。そのため、宣言項目を決める際も、環境人権委員会の生徒達に昨年度の目標を提示し、今年度も続けて取り組むべき項目と新たに取り入れる項目を話し合わせた。</p> <p>昨年度の反省としては電気や水の使用量が増えてしまったことと紙の無駄遣いが多かったことが挙げられた。また、良かった点としては、清掃ボランティアが活発に行われていることや花いっぱい運動に積極的に取り組めたことが挙げられ、今年度も続けていくことを確認した。</p> <p>新たな取り組みとしては、リサイクルによる医療支援活動を目的としてペットボトルキャップの収集を常時活動として行うことを決めた。また、花いっぱい運動の一環として「野菜の栽培をやってみたい。」との声があり、サツマイモを栽培して給食に出してもらおうという提案がなされた。生徒達が楽しみながら関心をもって今年度の目標を決めていった。</p>
		
	宣言項目	数値目標
	<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室等を使わないときは、電気のスイッチの切り忘れ0を目指します。 ・校舎・校庭の美化作業に努め、花いっぱいの学校にします。 ・雑巾はバケツにくんだ水で洗い、掃除用具の整理整頓を心がけます。 ・ペットボトルキャップを集め、リサイクルを行い、医療支援(ワクチン)に役立てます。 	<p>切り忘れ0</p> <p>金曜日の朝 草取り 環境人権委員会で苗植え 水使用量 前年度比3%減 1万個</p>
	<p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電に努めます。 ・ごみを出来るだけ少なくし、でたごみはきちんと分別します。 ・掃除の時間は、子ども達と一緒に無言清掃に努めます。 	<p>電気使用量 前年度比3%減 分別ボックス設置</p> <p>2分前行動</p>

行動



プランター土入れ作業



花の苗植え



夏休み 水やり当番



サツマイモの栽培



ペットボトルキャップ

【省エネに努める取組】

移動教室の際に、電気を消し忘れないようにすることや掃除中は消灯することなどを生徒同士で呼びかけ、徹底した。また、掃除はバケツの水を使って雑巾を洗うことで、水を出しっぱなしにしないようにした。このような小さなことの積み重ねが当たり前になるようになることが大切であると考えている。また、掃除の時間は「無言清掃」とし、放送の音楽も消して集中して掃除に取り組むようにしている。委員会の活動として時折チェックし、無言清掃ができているクラスや逆に、話し声が聞こえたクラスなどを発表し、協力を呼びかけている。

【学校をきれいにする取組】

朝から部活動ごとに清掃ボランティアを行っている。玄関周りを掃いたり、花壇の草取りや落ち葉掃き、登校坂や自転車小屋周辺の掃除などを行っている。普段は朝からランニングをしている生徒も、金曜日はグラウンドの草取りを行うなど、愛校心を持ち、自分たちの学校をきれいにするために何ができるかを考え、行動している。

花いっぱい運動に関しては、環境人権委員会を中心に積極的な活動が行われている。花壇やプランターの土作りから苗植え作業、水やりの当番を決めて夏休みも交代で水やりに出てきていた。また今年度、生徒の要望で行ったサツマイモの栽培は、学習や行事に忙しい中学生にとって童心に戻ることでできる楽しい取組となった。収穫したさつまいもを給食で出してもらうこともでき、食育の観点からも良い取組であった。

【物を大切にする取組】

リサイクル活動として、本年度からペットボトルキャップ集めとアルミ缶収集を行った。ペットボトルキャップに関しては、委員会の常時活動として、クラスごとに集めたキャップの数を数え、目標を決めるなどして取り組んでいる。集めたキャップが世界の子どもにワクチンを送る事業に使われるため、そのようなボランティアに興味関心を持つことにも役立っている。アルミ缶収集については、生徒会が保護者や地域に協力を呼びかけ、夏休みに期日を限定して行った。生徒が自宅周辺の地区にチラシを配って回収に回り、たくさんの協力を得ることができた。

ゴミの分別や印刷物の裏面再利用など、職員が心がけて取り組んでいることもある。給食の牛乳については、パック、ストロー、ストローの袋まで分けて収集するのが当たり前になっており、習慣化している。また、給食の残滓が出ないようにつぎ分けることや、展示食も生徒が分けて食べるなど、残さないように工夫をしている。

	 <p>グラウンドの草取り</p>  <p>祭り翌日の清掃活動</p>	<p>【その他】</p> <p>P T Aの活動として、夏休みに校庭周辺の草刈りやグラウンドの草取りを行った。保護者の方も積極的に学校の環境美化に取り組んでくれている。</p> <p>地域への貢献としては、「みなと祭り」後の清掃ボランティアを毎年行っている。希望生徒を募り、早朝よりゴミ拾いや後片づけの手伝い等を行った。祭り会場となった海岸沿いの広場には屋台の食べ物のゴミ等がたくさん落ちており、それを集めて回ったり荷物を運ぶ手伝いをすることで、地域の方に喜んでもらうことができた。自分たちの住む地域に目を向け、自分にできることを実行するという気持ちが育っている。</p>																									
記録	<p>電力・水使用量の推移（4月～10月）</p> <table border="1" data-bbox="256 824 1428 1220"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力</td> <td>508 kW</td> <td>484 kW</td> <td>514 kW</td> <td>544 kW</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5%減</td> <td>6%増</td> <td>6%増</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>1541 m³</td> <td>1627 m³</td> <td>1916 m³</td> <td>1854 m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5%増</td> <td>18%増</td> <td>3%減</td> </tr> </tbody> </table> <p>電力と水の使用量については、平成26年度からのデータが残っていたため4月～10月の値を比較してみた。生徒の意識は高まり、小さな努力の積み重ねは行われているが、数値として見ると成果は今ひとつであった。電力に関しては、本年度より各教室にエアコンが設置されたため、7・8・9月の電力使用量が昨年度の同じ月に比べて大幅に増えてしまった。使用して良い気温を決めたり、設定温度を決めるなどして対策を行っていかねばならない。水の使用量に関しては今年度は3%減となっている。その要因の一つとしては生徒数の減少によりトイレ等の水使用量が減ったのではないかと考えられる。しかし、今後も節水対策で取り組める項目については積極的に行っていきたいと考えている。</p>			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	電力	508 kW	484 kW	514 kW	544 kW			5%減	6%増	6%増	水	1541 m ³	1627 m ³	1916 m ³	1854 m ³			5%増	18%増	3%減
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																							
電力	508 kW	484 kW	514 kW	544 kW																							
		5%減	6%増	6%増																							
水	1541 m ³	1627 m ³	1916 m ³	1854 m ³																							
		5%増	18%増	3%減																							
見直し	 <p>細かい気づきでも、生徒に伝え、徹底する。委員会でチェック表を作り、できているかを確認する。</p>	<p>11月に環境教育の校内研修として、I S Oの取組を見直し、本校の環境に関する取組の課題と対策を出し合う時間を作った。職員から日頃感じている気づきが出され、共有したり今後の対策を話し合う機会とすることができた。</p> <p>【課題】</p> <table border="1" data-bbox="596 1758 1428 2076"> <thead> <tr> <th>生徒</th> <th>職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・雑巾の干し方が不徹底 ・担当箱の整頓ができていない ・掃除を隅々までして欲しい ・花植えは全校生徒で行う ・トイレトペーパーの無駄遣いがある </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの利用規定を作る ・印刷物が多い (裏紙の利用・配布物の選択、会議資料のペーパーレス化など) </td> </tr> </tbody> </table>	生徒	職員	<ul style="list-style-type: none"> ・雑巾の干し方が不徹底 ・担当箱の整頓ができていない ・掃除を隅々までして欲しい ・花植えは全校生徒で行う ・トイレトペーパーの無駄遣いがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの利用規定を作る ・印刷物が多い (裏紙の利用・配布物の選択、会議資料のペーパーレス化など) 																					
生徒	職員																										
<ul style="list-style-type: none"> ・雑巾の干し方が不徹底 ・担当箱の整頓ができていない ・掃除を隅々までして欲しい ・花植えは全校生徒で行う ・トイレトペーパーの無駄遣いがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの利用規定を作る ・印刷物が多い (裏紙の利用・配布物の選択、会議資料のペーパーレス化など) 																										

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○日頃の生活の中で、生徒が自主的に気付いて動く場面が多く見られた。例えば電気の消し忘れを防ぐ呼びかけをしたり、朝から清掃ボランティアを行うなど、教師が言わなくても行動することができていた。当たり前のこととして、生徒の環境に対する意識が高まってきていることを感じた。</p> <p>○夏休みの花の水やりを全校生徒で当番制にして行うなど、生徒会（委員会）が積極的に動いてくれたことが良かった。</p> <p>○アルミ缶・ペットボトルキャップ収集において家庭が協力をして下さったり、生徒が地域へゴミ拾いに出るなどの周辺地域との連携を進めることができた。今後も続けていきたい。</p>	<p>▲目標設定の段階で、電力や水の使用量について数値目標を立て削減を測ろうとしたが、エアコンの設置や生徒数の減少などの要因により昨年度までとは単純には比較できなかった。来年度は設定の際に別のやり方を考えたい。</p> <p>▲花いっぱい運動に関しては、どうしても時間の関係から全校生徒で取り組むということが難しい。今年度は環境人権委員会の生徒が主に取り組んだ。しかし、できるだけ多くの生徒が水やりだけでなく土作りや苗植えも経験できるようにしたい。時間の設定について考えていきたい。</p> <p>▲職員については、印刷物が多すぎる（特にコピー使用の無駄が多い）など、まだ改善できる点が多いと感じる。他校の良い取組を参考にするなどして今後はもっと一人一人が意識して取り組めるようにしていきたい。</p>